

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	建築材料設計特論B (Advanced Building Materials Design B)		授業コード	M007001
担当教員名	濱永 康仁		科目ナンバリングコード	R20216
配当学年	1	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	各種計算だけではなく、実際にコンクリートに対して実験を行う場合もあるため備えておくこと。			
受講心得	コンクリートの調査設計や鉄筋コンクリート構造物の構造計算についても触れるため、数値計算を行う準備を整えること。コンクリート、鉄筋コンクリートの基礎知識について復習をしてから講義を受講すること。			
教科書	講義の内容に応じて資料を配布する。			
参考文献及び指定図書	コンクリートの調査設計指針・同解説 日本建築学会 鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計施工指針(案)・同解説 日本建築学会 鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説 日本建築学会			
関連科目	建築材料設計特論A			

授業の目的	建築材料工学特論Aに引き続き、コンクリートの各種性状について理解を深めることを目的とする。
授業の概要	コンクリートに関する研究論文を読み解き、その内容を把握することによってコンクリートのみならず鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造を含めたコンクリート構造物についての知識を修得する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：ガイダンス、鉄筋コンクリート構造物の歴史</b> 鉄筋コンクリート構造物の歴史の変遷について学ぶ。	予習:2h 復習・課題2h
<b>第2週：鉄筋コンクリート構造物の設計1</b> 鉄筋コンクリート構造物の構造設計法について学ぶ。	予習:2h 復習・課題2h
<b>第3週：鉄筋コンクリート構造物の設計2</b> 鉄筋コンクリート構造物の構造設計法について学ぶ。	予習:2h 復習・課題2h
<b>第4週：鉄筋コンクリート構造物の設計3</b> 鉄筋コンクリート構造物の構造設計法について学ぶ。	予習:2h 復習・課題2h
<b>第5週：コンクリートに関する研究1</b> コンクリートやコンクリート構造物に関して行われている研究についてまとめる。	予習:2h 復習・課題2h
<b>第6週：コンクリートに関する研究2</b> コンクリートやコンクリート構造物に関して行われている研究についてまとめる。	予習:2h 復習・課題2h
<b>第7週：文献調査1</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。	予習:2h 復習・課題2h
<b>第8週：文献調査2</b>	

海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第9週：文献調査3</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第10週：文献調査4</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第11週：文献調査5</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第12週：文献調査6</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第13週：文献調査7</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第14週：文献調査8</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第15週：文献調査9</b> 海外の文献も含めたコンクリートについて研究している論文を調査し、その概要について報告する。		予習:2h 復習・課題2h
<b>第16週：</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	コンクリートやコンクリート構造物を構成する要素に興味をもって講義に臨むことができる。
<b>【知識・理解】</b>	コンクリートに関して基本的な知識のみならずコンクリート構造物やその歴史、研究成果についての知識を得ることができる。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	コンクリート構造物の構造設計を行うことができる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	構造物に対して適切なコンクリートを選択することができる。

<b>○成績評価基準(合計100点)</b>			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	20点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	20点	

<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			<b>10点</b>
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		<b>10点</b>	

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	